

2024.09.03

## 2年間の振り返り・まとめ

(樹木医 北村正隆先生)

とうとうレイカディア大学で学ぶ最後の講義となりました。  
ひとり一人が2年間の振り返りを発表しました。

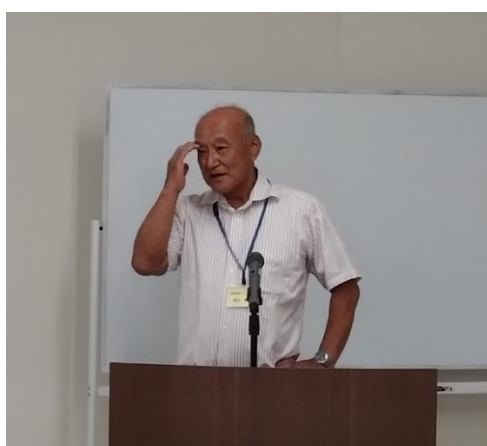


北村先生最後の講座



・昨年 農林水産大臣賞受賞





【動画は、「2023.0829 校外学習甲良養護学校 北村先生の実演動画」 参考にしましょう。<https://youtu.be/mhdiDLvjxTk>

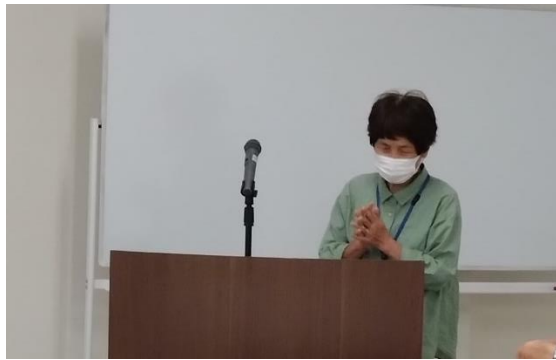


• 雲迎寺



• 近江八幡市立小学校





🌲 写真を撮れなかった人にはお詫びを申し上げます。

なお、当日の欠席者は、赤塚、加納、関さんでした。

.....

ひとり一人が2年間の振り返りを発表しました。  
各々の想いを先生に伝え、先生からひとり一人に丁寧にメッセージを頂きました。

学生の幾つかの想いに対して、、先生がお話してくださいました。

- 梯子の使い方は、加齢とともに筋肉量が減少して、俊敏性も衰えます。  
しっかり梯子を括り付けて、固定する事。  
十分気をつけて作業をしてください。
  - 野菜は1年物。土作りから元肥、適期に追肥。たくさん肥料が必要です。  
植木は光を浴びて体力を作る「冬場」に肥料を施肥しておこう。  
花が終わってから刈り込む。サツキなら5月～6月 7月ころまで。  
秋のキンモクセイも花が終わったあとに。
  - 木が枯れるのは、水の問題です。一番は、欲しがる場所へ。根元だけじゃなく。水を下へ通す、下へ抜けるところに。
  - シルバー人材センターの人は夏の暑い時期に選定しているが、、、？  
一番の理想は植物として体力を付けた後の頃でしょう。
    - ① 人にとって、庭がさっぱりした気持ちを求める（多めに枝葉を落とすと、そう見える）
    - ② 予算面。機械化トリマーのようなもので。シルバーの方は数をこなさなければならない。👉 等々の理由で夏場剪定もあり。補足。シルバー人材センターはその活動上、現実問題として、6月～11月まで、数名で機械を使って要望のある庭をしていかなければならない。
- 🌲 私が学生の皆さんに基本として教えておかなければならないことは、  
剪定の時期は、『花の時期が終わって、次に伸びる枝に花芽が付く』  
ということです。春に咲く木、夏に秋に冬に。自ずとわかってくるで

しょう。

- 関東と関西の庭木の違いは、関東は、外にたくさん花があった方を好む。  
（賑やかさを求める）  
京都は、花がちょっとあればいい。（ほろい）感覚。
- 関西の桜とか椿は、関東に移植すれば成長も早く大きくなる。土の問題。  
土が良い。関西は、粘土質。
- 剪定を行うとき、まわりを見る目を養って下さい。
- 大きな樹木を剪定するときは、登り易くすることも頭に置いて下さい。
- ボランティアは自分のできる範囲で OK!!!  
決して無理をしないでください。

等々でした。

【9月6日、北村先生に再度ご指導を頂きました。】



• 長浜ドーム



• 清岸寺





きゃんせんの森にて



雲迎寺にて



雨森芳洲庵にて



長浜ドームにて



・北村先生とサポートの会の先輩方との集合写真

2年間短い間でしたが、実習講座では、丁寧にご教授頂きありがとうございました。時には、我々に厳しくも、また実演もして、こうするんだよ、と見せて頂きありがとうございました。

ただ、1年目の最初の校外実習から、「剪定は、枝を切るものではない。1年前に戻す。あるいは抜く。」と言われましたが、初心者の僕にはなんの事やらとさっぱり分かりませんでした。でも、やはり場数といいますか何事にも挑戦して、ある時は先生の仕草や仕方をじっくり見ることが必要だと思いました。

先生が良くおっしゃる「遠くから離れて全体をみなさい」と言われる大切さは、「木を見て森を見ず」「森を見て木を見ず」剪定作業にとって、とても肝要なことだと学びました。

2023年6月に、農林水産大臣賞を受賞されましたね。改めておめでとうございます。最後になりましたが、これからも健康にご自愛頂き、ハシゴから落ちないように、ご活躍をお祈り致します。(T.O)

北村正隆先生 2年間 大変お世話になりました!!! ありがとうございました

44期 園芸学科生一同